

大内農業新聞

大内の農業をPR 大内のファンを増やすついで

第8号



大内地区
地域おこし協力隊

三浦 昌志

平成30年
6月29日発行

今月の小言

「きゅうりと雑草の成長は
髭が伸びるよりも早い」

「まさし農園」日記

5月27日、東北学院大学の学生が2名農業体験をしに来てくれました。「まさし農園」を使って地域の方に教わりながら「しそ・おくら・とまと」を植えました。

大学生農業体験



えごまの定植から商品化のお手伝いを行いました。腰を曲げての作業は大変でしたが、何人かで行うと交流も行って楽しかったです。

えごまドレッシング作成

6月16・17日、移住・定住サポートセンター主催の「まるもりまるごとツアー」に東北芸術工科大学の学生が3名来ていました。青葉の菅野さんの所でエゴマの定植を行い、ホームステイを行っていました。菅野さんは「前日までの雨で若干ぬかるみがあり悪条件の中でしたが、学生さん達は農作業に関心を持って一生懸命植え付け作業に汗を流していました」と言っていました。



③瓶に詰める



①食材を用意する



④蓋を閉める



②ミキサーに入れる



きゅうり、ピーマン、サニーレタスの収穫を行いました。日々成長していきそれが収穫できるのは楽しみだと思いました。欲しい方は是非ご連絡ください。「まさし農園」は学生が来た時の体験農園として使うため看板も設置しました。何を植えているかも見て分かる様にしました。



最近参加をした地区イベント



鹿狼山トレッキング
(5/26)



花いっぱい運動
(6/15)



生きがいづくり大内
(6/19)



もりもり元気クラブ
(6/21)

第29回ふるさと大内芸能まつり



大内保育所による
ダンス



大内てけれけ太鼓

大内小学校民謡教室



新相馬節教室

大内小学校の3年生が「ふるさと大内芸能まつり」に向けて新相馬節を大きな声で練習を行っていました。

感想

学生の農業体験、農家のお手伝い、「まさし農園」で収穫など農作業を行うことが多かったです。6月は農作業が多いため、来年以降は人手を増やすためにも農作業を行ってくれる学生を呼びたいと思います。そのため「月ごとに行える農作業をリスト化」してから、学生に営業をかけていこうと思います。

今まで小学生が参加するイベントに何回か取材を行ったため、小学生にも覚えてもらえるようになりました。色々な世代に認知をされてきたため、これからは一歩先の困りごとを聞きだしたいと思います。

ふるさと大内球技大会

6月10日、大内小学校体育館で「ふるさと大内球技大会」が本部を含む6チームで行われました。私は7区として参加を行い、チームの方と交流をしながら試合を行いました。残念ながら準優勝でしたが、とても楽しかったです。翌日には首、腕、足が筋肉痛になっていました。



情報募集中(まちセンに連絡ください)

- ・お茶のみをしながら話をしてくれる方
- ・農作業で人手が欲しい方

～何かありましたら三浦(79-2004)まで～

今月の活動目標

- 1.地域の方とたくさん交流をする
- 2.農業体験の受け入れ準備をする
- 3.収穫体験を行ってもらえるように営業する